

災害協定



災害時応援協定

洪水、地震被災時の相互応援協定を締結。災害対策を強化

群馬県邑楽郡大泉町と災害時相互応援協定を締結しました。協定書には、洪水や地震、その他の災害が発生した場合、十分な被災者支援が行われない際に、被災町の要請に応じて、もう一方が食料などの支援物資の提供、避難者受け入れを行うことなどが盛り込まれています。応急対策、復旧対策を迅速かつ円滑に遂行することを目的とし、災害対策強化に努めます。

群馬県邑楽郡大泉町



12月17日締結式。村山俊明大泉町長（写真左）

橋本町長
万が一利根川が決壊した場合は、境町の95%が浸水します。大泉町は災害の少ない町です。境町が助けていただく意味合いが大きいですが、大泉町には外国人の方が多く、言葉の違いによる避難対策や避難所での対応などを学んでいきたい。両町が安心安全な町になっていけるよう努力してまいります。

大泉町はこれまで大きな災害に遭ったことはありません。災害の際には、全力で支援の役割を果たしていきたい。



村山大泉町長

包括連携協定締結

災害支援に使用している宿泊型コンテナを扱う企業2社と災害時の連携協定を締結

町では、7月や9月の災害において、被災地支援の際に連携させていただいた、北海道の建設会社「(株)アーキビジョン21」、都内の不動産会社「(株)アーネストワン」と、それぞれまちづくりや災害対策へ向けた包括連携協定を締結しました。協定を基に、各社が開発したトレーラハウスやコンテナハウスを地域の資源を活かしたまちづくりや、災害時の連携による安心安全な地域づくりでの活用を進めます。

今後、すでに設置されている4台に加え、文化村敷地内へのコンテナハウス等の導入・設置を推進し、町内で災害が発生した場合や全国の被災地での活用、2020年東京五輪のアルゼンチン選手団事前キャンプの宿泊などでの使用を想定しています。

(株)アーキビジョン 21



10月12日締結式。(株)アーキビジョン21の丹野正則社長（写真左）



岡山県倉敷市の公民館に設置された大型トレーラハウスの様子。1台で4名の宿泊設備が整った移動式ハウスで、北海道厚真町への災害支援でも活用され、接続も可能です。

(株)アーネストワン



12月10日締結式。(株)アーネストワンの松林重行社長（写真左）



災害時、岡山県倉敷市の避難所へ輸送・設置されたコンテナハウス。宿泊設備や個室トイレ、シャワーなど、1台ずつに用途に応じた対応が可能です。

ふるさと納税を活用した3つの被災地支援

1 迅速な代理寄付対応「広島県」「岡山県倉敷市」「北海道厚真町」

橋本町長発案で代理寄付の輪が広がっています

被災した自治体に代わって、寄付の受付や納税証明書などの書類の発行を他の自治体が代行。平成28年4月に発生した熊本地震の際に橋本町長の発案により、(株)トラストバンクとの連携で新たな被災地支援として全国で初めて実施され、現在では代理寄付による支援が自治体間で広がっています。

境町では、7月、9月の災害においても、いち早く代理寄付を開始し、集まった災害支援金を各自治体へ直接出向き贈呈しました。

2 被災地応援パートナーシップで支援金635万8,839円

平成30年7月10日～8月31日までの期間内でふるさと納税の寄付金額の3%を支援金として、(株)トラストバンク経由で被災地へ分配しました。被災地応援パートナーシップは、返礼品を受けられて、同時に寄付を行うこともできる仕組みです。

3 クラウドファンディングで資金を集めて被災者を支援



ガバメントクラウドファンディング(GCF)とは、地方自治体がプロジェクト実行者としてインターネットを通して世の中に呼びかけ、共感した人から資金を募る仕組みです。町では、平成30年7月豪雨災害を受けて、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」でGCFを活用した災害支援を行っています。

代理寄付やコンテナ設置など、ふるさと納税を使った様々な被災地支援を実施しています



災害支援

平成30年7月豪雨災害支援

平成30年9月北海道胆振東部地震災害支援



平成30年9月北海道胆振東部地震災害支援

北海道厚真町

3,772万2,120円



11月6日、宮坂厚真町長から感謝状を受ける橋本町長

GCF 子どもたちに放課後自習室を届けたい



避難生活をしている子どもたちが、放課後にのびのびと自由に遊び自習できるモバイル型仮設集会所を北海道厚真町の小学校敷地内に設置(写真左下)しています。

災害直後だけではなく、長期的な支援活動を実施

平成30年7月豪雨災害支援

岡山県倉敷市

1億4,548万5,901円



11月21日、伊東倉敷市長(右二人目)に目録を贈呈する橋本町長(左二人目)

GCF 宿泊用コンテナ7台を倉敷市へ



町が災害用として購入していた、様式の異なるコンテナ3台及び大型の宿泊用コンテナ4台を倉敷市へ輸送する資金を集め、避難所に設置しました。

GCF 被災地に「授乳服」を届けたい



避難所生活を過ごす乳児とお母さんへの支援として岡山県倉敷市に授乳服と授乳用ブラジャーを届けました。

平成30年7月豪雨災害支援

広島県

7,057万5,193円



11月21日、湯崎広島県知事に目録を贈呈する橋本町長

北海道安平町

GCF モバイル型住宅ユニット無償貸し出して営農を助けたい



自宅を失い営農が困難となった北海道安平町の牧畜・酪農・ハウス栽培農家に、モバイル型住宅ユニットを2年間無償で設置・レンタルする事業の資金を募集しています。

報道 災害支援の取り組みがテレビ、ラジオ、新聞に掲載

テレビ ラジオ 12件

- テレビ
- 7/9 NHK「茨城ニュースいば6」
 - 7/17 日本テレビ「newsevery」
 - 7/18 TBS「Nスタ」
 - 7/18 テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」
 - 7/18 テレビ朝日「スーパーJチャンネル」(ほか7月計7件)
 - 11/21 tss テレビ新広島「広島ニュースTSS」
 - 11/21 RCC中国放送「RCCニュース」
 - 11/21 広島ホームテレビ「5UP」
 - 11/24 NHK「広島ニュース」
- ラジオ
- 7/13 文化放送「斉藤一美ニュースワイド SAKIDORI」

新聞 14件

- 7/10 東京新聞 朝刊
- 7/11 朝日新聞 朝刊
- 7/12 茨城新聞 朝刊
- 7/20 産経新聞 朝刊(ほか7月計8件)
- 9/15 朝日新聞 朝刊
- 11/7 読売新聞 朝刊
- 11/15 読売新聞 朝刊
- 11/28 山陽新聞 朝刊
- 12/14 茨城新聞 朝刊
- 12/18 朝日新聞 朝刊

